

医学・医療に関連する商業紙報道 見出し・概要 (平成22年5月1日～5月31日)

官公庁・医師会の医療政策		新聞	掲載面	掲載日
文科省、独自事業仕分け	6月3.4日 学力調査も対象	朝日	18面	5.30
医師不足や偏在の初実態調査	全国の病院対象。調査結果を基に医師の必要数を分析、地域や診療科偏在解消を検討。	読売	34面	5.30
健診で精神疾患検査	厚労省PT 自殺予防策まとめる	毎日	23面	5.29
看護師の医療行為議論	傷の縫合・薬変更・認める案 厚労省部会	朝日	6面	5.27
参院選公約 診療報酬引き上げ明記	民主党は前政権の「マイナス改定」が「医療崩壊の危機」を招いたと判断。財源などは未定。	読売	2面	5.24
国内外未承認の薬 保険併用を初承認	久留米大病院の前立腺がん患者対象	朝日	7面	5.19
ALS患者入院中 ヘルパー利用OK	意思疎通の不安解消に制度見直しへ	朝日	7面	5.19
高額医療費「負担感」年々増加	「金の切れ目 命の切れ目」	毎日	2面	5.9
特効薬やめ容態悪化	白血病患者 高額医療費重く がん患者13%「効果より負担減」 「薬代が無かったら、すごく楽だよな」	毎日	1面	5.9
高額療養費制度の自己負担軽減	所得300万円以下世帯の負担上限額を、月額約4万円に引き下げる方向。来年度に実施予定。	読売	夕1面	5.8
日医連、脱自民が加速 3県が民主に転換	共同通信アンケート。26道県が回答し自民支持は4団体と脱自民が進む。ただ、「自民、民主と等距離」「政治的中立」は11道県。21都府県は態度表明を保留し政界との関係は手探り中。	山日	2面	5.2
iPS臨床にルール 厚労省指針案 倫理委と国が審査	iPS細胞やES細胞は基礎研究が急速に進むが、治療へのルールは未整備だった。案ではiPS細胞は本人への使用に限定、ES細胞は人間の胚の利用に関する基準ができるまで実施を禁止。	山日	21面	5.1
大学の運営				
東京医大 肝移植前に寄付要求	9人 計1,200万円	朝日	27面	5.2
病院の経営				
回復期リハビリ病棟治療実績 一覧	読売新聞アンケート調査(569病院)。回復期リハビリは治療後の高齢者の寝たきりを防止。	読売	12面	5.2
臨床研修制度・研修医				
病理医不足	市民の関心が育成促す(病気、特に「がん」は、病理医が最終診断し治療法の根拠となる)	朝日	17面	5.11
再生医療				
皮膚や胃から肝臓幹細胞	世界初。国立がん研究センター。肝臓の細胞を大量に作れば安全な新薬開発に貢献できる。	読売	32面	5.28
アキレス腱作る遺伝子発見	米科学アカデミー紀要電子版に発表	朝日	27面	5.28
iPS 難聴治療に応用期待	耳の細胞作り、マウスで成功 日本人研究者ら (米科学誌「セル」に発表)	朝日	30面	5.14
視神経再生に成功 日米共同チーム	マウス実験 緑内障治療へ期待 (米科学アカデミー紀要に発表)	毎日	3面	5.2

臓器移植

公平性、根深い問題	角膜、妻に優先移植	朝日	36面	5.23
WHO 生体移植規制の指針採択へ	臓器提供者の保護が柱。日本では国の指針、日本移植学会の倫理指針のみ。法整備が必要。	千日	18面	5.3

予防医学

定期接種で世界に遅れ ワクチンギャップどうする	日本は他の先進国より、無料の定期接種ワクチンの種類が少なく、接種率も低い。日本小児科学会のシンポジウムでワクチン政策後退の経緯、必要性、接種率の向上などが話された。	千日	9面	5.23
肺炎球菌ワクチン接種を	細菌性髄膜炎の原因 高い死亡率 任意だが自治体助成も 容態急変する怖さ 予防が重要	毎日	12面	5.9
メタボ健診 腹囲測定、やはり必要	診断基準の有効性を検討した厚生労働省研究班は、他の疾患との区別にも役立つとした。	千日	9面	5.4

感染症

09年エイズ患者431人	(過去最多だった前年と同数)	朝日	35面	5.28
「服薬見守り」結核治す	保健所で、薬局で、メールで確認 「中断防げ」進む連携 集団感染なお年40件	朝日	26面	5.27
B型肝炎 お父さんも検査を	子供への感染 口移しでも	朝日	1面	5.26
「百日ぜき」大人にも急増	夏の流行控え注意 国立感染研	朝日	37面	5.26
かむ・ひっかく 犬や猫から細菌	高齢者ら感染死の例(カブノサイトファーガ感染症) 02年から6人(死亡)	朝日	36面	5.23
B型肝炎ってどんな病気?	血液を通して感染。慢性化すると完治は難しい	朝日	2面	5.14
20世紀以降の新興感染症	エイズやSARSなどの新たな新興感染症は生態系のゆがみともいえる。	読売	夕9面	5.6
乳幼児の手足口病が急増	国立感染症研究所の集計。半分以上が「エンテロウイルス」の重症化するタイプ。	千日	19面	5.3

新型インフルエンザ関連情報

新型インフル 休校で封じ込め	昨年の5月流行のタイプと6月以降の流行のタイプは異なり、休校の効果が裏づけられた。	読売	夕2面	5.27
発生初期の広報や情報提供は失敗	報告書では厚労省に感染症の専門知識を備えた報道官を設置し、情報の一元化を求めた。	読売	33面	5.26
新型インフル 国内確認(から)1年	1年を経ての反省 感染伝達 患者は最後(はおかしい)	毎日	24面	5.9

産科

お産の費用 誰が負担?	出産一時金の直接支払い制度(妊婦側：高額な窓口立替なし 医療側：払い込みに数カ月、負担大×)、事実上見送り 診療報酬化、医療側は警戒 出産費用 安21万円 高81万円 金額に差、内容も不透明	朝日	23面	5.14
受精卵診断 議論の時	6年で146件 対象の病気増加傾向	朝日	3面	5.9

小児科

小児科ネットワーク進化	新型インフル 感染者確認から1年 空きベッド情報共有 開業医ら診察応援に	朝日	29面	5.11
-------------	--------------------------------------	----	-----	------

発達障害 健診で見極め	5歳児対象 全国55市町で 特性に応じ適切な対応 「入学前に学校に伝えて」	毎日	14面	5.2
-------------	---------------------------------------	----	-----	-----

治療法・薬

がん医療 最前線へ	頭頸部がん 生活の質チーム医療で高める 抗がん剤「高くて効かぬ」は昔の話 前立腺がん 生活にあった治療法選んで がん幹細胞 三つの戦略で根治狙う 緩和ケア 希望と現実の差縮めたい 日本癌学会(http://www.jca.gr.jp/)市民公開講座	朝日	27面	5.31
閉塞性動脈硬化症の新治療法	太ももの動脈に挿入するステント(金属製の筒)の医療機器としての承認を目指す臨床試験(治療)が日米34医療施設で始まった。日本では慈恵医大、奈良県立医大、済生会横浜市東部、小倉記念(北九州市)が参加。	読売	夕9面	5.6
前立腺肥大症の手術費用	電気メスで尿道側から前立腺を切り取る手術が一般的。日帰りもあり、6万円台から。	読売	夕9面	5.6

医療事故・訴訟

B型肝炎と闘う 解決待つ原告ら	命の線引き許さない 苦渋伝えるのが使命 息子の死、なぜ 子の成長見続けたい	朝日	24面	5.27
医療事故の対応マニュアル実行は？ 社会保険病院グループ 調査	2年前に同グループで導入された。「真実を話し、過誤があれば謝罪する」を基本方針とする。アンケートでは、半数が「ほぼ定着」したが、実行の障害は「管理者、上司」が最も多かった。	読売	15面	5.16
医療版「事故調」が頓挫	被害者(は仮称・医療安全調査委員会の)早期設立を要望 厚労省、試案変更も	朝日	6面	5.13
B型肝炎 和解協議へ	感染者 推定130万人 範囲・水準 高い壁 原告以外へ拡大 未知数 「前進、でも長すぎた」 原告ら期待と憤り	朝日	3面	5.10
「慶大病院 がん誤診」	死亡女性の両親が提訴 偽肉腫なら珍しい症例 遺族「命より研究」	毎日	22面	5.2

虐待

虐待児の頭の傷 データベース化	産総研など 正確な診断目指す	朝日	39面	5.30
歯科医に虐待意識調査	相談・通告 指針に 役割明確化も課題 小児(歯科)学会方針	東京	1面	5.30

介護

介護保険10年 何が足りない	利用者評価に応じた報酬を 困窮者向け福祉制度も必要 死を不自然に延ばさないで	朝日	15面	5.14
----------------	--	----	-----	------

地域医療

千葉医療センター 新病院あす開院	救急拡充、地域の中核に	朝日	31面	5.31
独法化「さんむ医療センター」(千葉県)	経営・医療の質強化 検討委発足	朝日	31面	5.31
医師不足解消に努力(千葉県医師会)	救急医療の受け入れ拒否の解消、消防機関や医師会、医療機関などで協議会を設置した。	千日	14面	5.31
すがったら、偽医師	常勤の循環器科医不在 岩手・宮古病院 「逮捕されホッと」金銭目的否定	朝日	39面	5.30
浦安市 ワクチン接種を全額助成 子宮頸がん、肺炎球菌など4種類	4種類(子宮頸がんワクチンとヒブワクチン、小児用と高齢者用の肺炎球菌ワクチン)すべての助成は全国でも極めて珍しい。	千日	15面	5.29
研修医の県内定着や医師派遣事業(千葉県地域医療再生本部)	千葉大に「県医師キャリアアップ・就職支援センター」の設置、著しい医師不足地域へ医師派遣など計7事業を実施。財源は香取海匠、山武長生夷隅両医療圏への国の交付金50億円。	読売	33面	5.27

麻しん予防にワクチンを千葉県が2回目の接種呼びかけ	2008年度は1047人が感染し、学年・学級閉鎖が相次いだ。昨年1年間の麻しん患者数は116人と激減したが 全国最多を記録。流行シーズン前に予防のワクチン接種を呼びかけている。	千日	1面	5.23
21世紀型健診機関を目指して	[千葉県民予防財団 藤澤武彦理事長に聞く] 21世紀型健診は、従来の集団検診から、受診者一人ひとりを対象とした健診車による健診へと変えていく必要がある。	千日	10・11面	5.20
山梨県が子宮頸がんワクチンに助成	東京都に続き2例目。全国42自治体が助成を実施・検討中。接種推奨年齢は11～14歳。	読売	夕14面	5.18
がん治療の医療環境充実新たに専門病棟が稼働	鴨川・亀田総合病院は地域がん診療連携拠点病院。放射線治療、腫瘍内科、血液腫瘍内科を専門施設に集約。一般外来患者との混交がなくなり、待ち時間や感染の不安が緩和される。	千日	17面	5.11
千葉県内小児科 ネットワーク化 新型インフル 教訓生かし重症化対応	県小児科医師会は昨年11月、県と連携し、小児科の空きベッド情報共有システムを作った。最終的には県立こども病院の医師らがコーディネーターとなり受け入れ先を探す。	千日	1面	5.12
公設民営の「銚子市立病院」再開	医療法人財団「銚子市立病院再生機構」が運営。当面内科だけ平日のみ外来診療。初日、受信は20人、安堵の声が聞かれた一方、付近住民からは「内科だけではまだダメ」との声もある。	読売	33面 22面	5.7 5.2
「日本住血吸虫病」に生涯ささげた杉浦父子 (山梨県)	医院建物 10月に一般開放 昭和町が買い取る 文化財登録視野に整備	毎日	23面	5.1

医学・医療・科学情報

読売北海道医療フォーラム(5.8)	基調講演：住民のための地域医療再建 パネルディスカッション：安心の医療を築くために	読売	28面	5.29
千葉県南で覚せい剤まん延 町中で売買 客に漁師も	千葉県警は覚せい剤取締法違反容疑で9人逮捕。木更津や君津、富津市の漁師や会社員に口コミで広がった。県内で昨年摘発された647人のうち約26%が中高生などの未成年や女性。	千日	19面	5.29
無煙たばこって何？	火を付けず香り楽しむ ニコチン20分の1でも健康にリスク	毎日	3面	5.29
電子書籍 国内連合	囲い込みせず メーカー参加も募る 出版社 市場拡大に期待「どの端末にも配信する」 端末普及は加速 液晶型・ペーパー型 読者と出版社 立場強くなる	朝日	3面	5.28
脳バンク設立へ	うつ・認知症研究へ生前登録	朝日	37面	5.25
iPad暮らしに浸透中	米国、4月から100万台販売 大学の教科書もカルテも	朝日	3面	5.25
変形性関節症の原因物質解明	患者は健常者に比べ、たんぱく質「HIF2A」の働きが高い。医学誌ネイチャー・メディスン発表	読売	28面	5.24
ALS患者の「呼吸器はずした」	日本神経学会で発表。解答した専門医師の約2割(287人)が患者や家族から呼吸器はずしを頼まれ、9人がはずしたと答えた。07年の終末期医療の指針には中止の具体的基準は無い。	読売	30面	5.23
うつ病対策に脳バンクの拡充を	日本精神神経学会等は、うつ病にがん対策並みの国の取り組みを求める共同宣言を発表。	読売	2面	5.23
環境分野は社会との接点	名古屋大「現代環境学 ジャーナリズムから学ぶ」 第一回「地球温暖化の現場から」	朝日	31面	5.23
ペットボトルで放射線計測 千葉市の放医研が成功	計測装置に使われるプラスチックは医療用など高精度の計測には不向きとされ、値段も高額。回収ペットボトルでは医療機器の低価格化も期待。英国王立協会紀要電子版に発表。	千日	1面	5.20
埋め込み式人工心臓を二つ装着	国内初の手術(大阪大病院)が成功。退院した30代女性は自宅療養で心臓移植提供者を待つ。	読売	夕14面	5.18
「ハンチントン病」発症の仕組み発見	傷ついたDNAを修復する酵素不足が原因。「ジャーナル・オブ・セルバイオロジー」電子版発表	読売	夕16面	5.17
呼吸ケアに専門チーム(RST)	助言・勉強会で安全意識も浸透 機器の高度化に対応	朝日	33面	5.13
前立腺がん PSA検診は有効？	自治体の半数が住民検診に導入。専門家のPSA検診評価は分かれている。	朝日	37面	5.13
患者さん1曲いかが？	練馬区関町病院の「メディカル流し」。元プロギタリスト看護師の取り組み。	朝日	31面	5.10

イチョウ葉エキス「効果なし」	米国の高齢者を対象とした臨床試験 (米国医師会雑誌2009.12掲載)	朝日	夕3面	5.10
夜のおしっこ多いと危険?	高齢者 死亡率上がる傾向 (東北大の研究チーム)	朝日	26面	5.2

注記 1. 千日：千葉日報 山日：山梨日日新聞 2. 読売新聞の見出しや他の文章は著作権等があり掲載記事の文章とは異なるように配慮されております。 3. 日本経済新聞、秋田さきがけの記事は著作権等があり掲載しておりません。 4. 同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないし早い日付で報告されていたものを掲載するようにしております。